



# Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

## 評価報告書

ソロモン諸島

— 2019年度 地域巡回機能回復等推進事業 —  
(終了時評価 2020年4月)

### 事業概要

国名	ソロモン諸島
プロジェクト名	2019年度 FDAPIN VI プロジェクト
実施期間	2019年6月26日(覚書署名)～2020年3月31日
相手国政府覚書署名 省庁名及び実施機関	覚書署名省庁: 漁業海洋資源省(MFMR: Ministry of Fisheries and Marine Resources) 実施機関: 漁業海洋資源省

### プロジェクト実施の経緯と背景



ソロモン諸島(以下「ソロモン」という。)政府漁業海洋資源省(以下「MFMR」という。)は、2019年度のAnnual Corporation Planを編集中であり、製本が完了していない。しかし、「2014-2018年実施計画書(MFMR Corporate Plan 2014-2018)」において、「地方の漁業センターの適切且つ持続的な利用を支援する為の戦略を研究・準備して実行する」と定めている。このような計画の下、MFMRは各種の漁業振興計画を実施しているが、同国の水産関連施設は老朽化に伴う故障や運営管理の不備により、本来の機能を発揮することができず、漁業振興計画の推進に大きな支障を来している。

このため、ソロモン政府は、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言についての要請を行った。

財団は我が国とソロモンとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施する方針を決定した。

### 目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する
成果	<p>①セメゲ漁業センターの修理・修復及び技術指導 セメゲ漁業センターの修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。</p> <p>②ラタ漁業センターの修理・修復及び技術指導 ラタ漁業センターの修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。</p> <p>③セゲ漁業センターの修理・修復及び技術指導 セゲ漁業センターの修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。</p>
活動	<p>①セメゲ漁業センターの修理・修復及び技術指導 ブロック型製氷機と発電機の交換を行った。また、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行った。</p> <p>②ラタ漁業センターの修理・修復及び技術指導 ブロック型製氷機と砕氷機の交換を行った。また、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行った。</p> <p>③セゲ漁業センターの機能強化と技術指導 ブロック製氷機のコンデンサーの修理、フリーザー用のソーラーパネルの設置、ソーラー発電における負荷試運転と各種データの採取等を行った。また、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行った。</p>
投入	<p><b>財団側</b></p> <p>1) 専門家 計画 巡回指導：チームリーダー／冷凍機器、漁船機関専門家 冷凍機器専門家 2020年2月中旬～3月中旬（約33日間） 実績</p>

	<p>巡回指導：チームリーダー／冷凍機器、漁船機関専門家 冷凍機器専門家 2020年2月9日～3月9日（30日）</p> <p>延日数 計画：(66人・日) 実績：(60人・日)（計画対比：91%）</p> <p>2) 主な資機材 ブロック型製氷機（12缶）、発電機（12.5KVA）</p> <p>3) 事業費 予算額 24,237千円 実績額 24,790千円（予算対比：102%）</p> <p>相手国側</p> <p>1) 主なカウンターパート Engineer, Principal Fisheries Officer, Provincial Fisheries Division, MFMR</p> <p>2) プロジェクト関連予算、土地、施設等 MFMR 事務室、電気・水道の無償使用、船外機付きボートの提供等</p>
--	--

## 評価事項

### ◆ 妥当性

#### 1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、ソロモン政府が策定した「2014-2018年実施計画書」等に基づく漁業振興策に合致した事業内容であり、妥当と判断される。（2019年度計画については編集途中であるが、2014-2018年度実施計画書を踏襲した内容になっているとのことである。）

#### 2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

ソロモン政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請されており、事前調査においてセメゲ、ラタ、セゲの各漁業センターの修理・修復及び技術指導に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

#### 3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、冷媒、廃棄部品等の扱いに

については、適切な回収装置を用いるなど、常に環境保全に配慮している。

#### 4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図るものであり、その結果、現地零細漁業者の漁業活動が活発になることが想定されるが、零細漁業の漁獲圧力は限定的であり、水産資源への負荷を著しく増大させるものではない。

#### 5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

### ◆ 効 率 性

#### 1. 事業費及び実施期間

事業費はわずかに予算額を超過したが、実施期間は計画より短縮し、効率的に実施した。  
(予算及び計画対比：事業費 102%、実施期間 91%)

#### 2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

#### 3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で移転技術の指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

#### 4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

特になし。

#### 5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

### ◆ 有 効 性

#### 1. プロジェクト目標の達成度

##### ① プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技

### 術が向上する

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によりカウンターパートの知識及び技術レベルは益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

#### ② その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

## 2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

### ① セメゲ漁業センターの修理・修復及び技術指導

期待された成果：セメゲ漁業センターの修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

施設の修理・修復を行い、MFMR のカウンターパートに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

### ② ラタ漁業センターの修理・修復及び技術指導

期待された効果：ラタ漁業センターの修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

施設の修理・修復を行い、MFMR のカウンターパートに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

### ③ セゲ漁業センターの機能強化と技術指導

期待された効果：セゲ漁業センターの修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

施設の修理・修復を行い、MFMR のカウンターパートに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

## ◆インパクト

### 1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設の修理・修復に関する水産局のカウンターパートの技術が向上したことから、プロジェクト目標は達成された。

今後、製氷施設が順調に稼働すれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産の増加、小規模漁業の発展に一定の効果を及ぼすとともに、ソロモン政府が策定した「2014-2018 年実施計画書」等に掲げる「市場や輸送手段及び施設等の改善」の達成にも寄与する。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設が安定的に稼働し、周辺漁民に氷が円滑に供給されるようになった。今後、製氷施設が順調に稼働すれば、魚価が上がり漁民の所得が向上することから、対象地域の経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

また、氷は地域住民にも供給されることから、民生向上に寄与し、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

## ◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは水産局の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、製氷施設の稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、施設の機械に異常が発生した際には、MFMRのカウンターパートが州政府の予算で修理のために現地に出張するシステムにより、必要な時には修理できる体制があることから、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

局長会議にて「2019年度から、新しい国有財産管理システムとして、財務省主導で各省に資産管理担当官を配置し、MFMRで使用する機械・工具類についてもホニアラのワークショップで一括管理を開始する」との報告があった。

以上